

監査公表第12号

地方自治法第199条第5項の規定に基づき実施した、敦賀市消防防災館(仮称)新築工事(建築・電力・電気通信・空調・給排水)に係る監査の結果を、同条第9項の規定により、別紙のとおり公表する。

平成19年10月24日

敦賀市監査委員	安	久	彰
同	橋	本	幸夫
同	高	野	新一

工事監査結果報告書

1 監査対象工事の概要

(1) 建築工事

工事の名称 敦賀市消防防災館（仮称）新築工事（建築）
工事の場所 敦賀市中央町2丁目1番2号
工事請負金額 451,500,000円
工事期間 平成18年8月21日～平成19年11月30日
工事請負業者 株式会社 塩浜工業
設計業務委託業者 佐藤総合・山内建築特定設計業務共同企業体
監理業務委託業者 株式会社 佐藤総合計画
工事概要 敷地面積 3,829.838㎡
建築面積（消防防災館）RC造6階建 2,132.766㎡
（連絡通路）S造4階建 40.881㎡
（自転車置場）S造1階建 44.613㎡
工事進捗状況 進捗率58.4%（計画61.5%）
（平成19年7月31日現在）
所 管 課 建設部住宅政策課

(2) 電力工事

工事の名称 敦賀市消防防災館（仮称）新築工事（電力）
工事の場所 敦賀市中央町2丁目1番2号
工事請負金額 120,750,000円
工事期間 平成18年8月21日～平成19年11月30日
工事概要 受変電設備、自家発電機設備、電灯設備等
工事請負業者 日東電気株式会社
設計業務委託業者 佐藤総合・山内建築特定設計業務共同企業体
監理業務委託業者 株式会社 佐藤総合計画
工事進捗状況 進捗率42.5%（計画47.3%）
（平成19年7月31日現在）
所 管 課 建設部住宅政策課

(3) 電気通信工事

工事の名称 敦賀市消防防災館（仮称）新築工事（電気通信）
工事の場所 敦賀市中央町2丁目1番2号

工事請負金額 46,200,000円
工事期間 平成18年8月21日～平成19年11月30日
工事概要 弱電設備、放送設備、非常放送設備等
工事請負業者 楠電気工事株式会社
設計業務委託業者 佐藤総合・山内建築特定設計業務共同企業体
監理業務委託業者 株式会社 佐藤総合計画
工事進捗状況 進捗率7.4% (計画8.7%)
(平成19年7月31日現在)
所 管 課 建設部住宅政策課

(4) 空調工事

工事の名称 敦賀市消防防災館(仮称)新築工事(空調)
工事の場所 敦賀市中央町2丁目1番2号
工事請負金額 51,975,000円
工事期間 平成18年8月21日～平成19年11月30日
工事概要 空調設備、換気設備
工事請負業者 株式会社 増田空調
設計業務委託業者 佐藤総合・山内建築特定設計業務共同企業体
監理業務委託業者 株式会社 佐藤総合計画
工事進捗状況 進捗率35.0% (計画36.5%)
(平成19年7月31日現在)
所 管 課 建設部住宅政策課

(5) 給排水工事

工事の名称 敦賀市消防防災館(仮称)新築工事(給排水)
工事の場所 敦賀市中央町2丁目1番2号
工事請負金額 37,275,000円
工事期間 平成18年8月21日～平成19年11月30日
工事概要 給排水設備、車庫換気設備、給油設備
工事請負業者 有限会社 ミュートス
設計業務委託業者 佐藤総合・山内建築特定設計業務共同企業体
監理業務委託業者 株式会社 佐藤総合計画
工事進捗状況 進捗率50.1% (計画52.3%)
(平成19年7月31日現在)
所 管 課 建設部住宅政策課

2 監査の期間

平成19年8月6日～平成19年8月7日

3 監査の方法等

敦賀市消防防災館（仮称）新築工事（建築・電力・電気通信・空調・給排水）について、設計、施工、監理等が適切かつ効率的に執行されているかどうかについて関係書類を調査するとともに、工事担当課長及び工事担当職員から説明を受けた後、工事現場の現地調査を行った。

なお、この監査の実施にあたっては、工事技術に関する専門的知識を必要とするため、特定非営利活動法人公共技術研究協会との工事技術調査業務委託契約に基づき、技術士の派遣を求めて行った。

4 監査の結果

設計図書の作成、工事の施工及び施工の監理等については、「公共技術研究協会」から提出された工事技術調査結果報告書及び「福井県生コンクリート工業組合南越試験場」発行のコンクリート強度試験結果報告書を総合的に検討した結果、概ね適正に実施されていたが、工事の監督体制について、特に委託管理者に対する指導を徹底され、より一層適正な施工に努められたい。

なお、軽易な事項については、その都度関係者に改善等を指示したので、記述を省略した。

※ コンクリート強度については、シュミットハンマー試験により3箇所測定したところ内1箇所において設計強度（要求強度）を下回る数値（設計強度 36.0 N/mm^2 のところ測定強度 30.1 N/mm^2 ）となったことから、強度不足箇所のコアを抜き、精度の高い圧縮強度試験の実施を指示。その後、福井県生コンクリート工業組合南越試験場で圧縮強度試験が行われた結果、設計強度（要求強度）を上回る数値であることを確認している。